

北海道における「地域シンポジウム」開催について

建設産業市民化の新展開

～地域づくり・まちづくりの展開方向と公共事業プレーヤーの新たな役割分担～

時代は、ダム、橋梁、道路等の個別インフラ整備主体から、それらの蓄積を基礎とし、地域やまちの個性を生かした協働型地域づくり、まちづくりへと方向転換することを求められています。

これを実現するには、行政、建設業者、コンサルタント、市民・住民の各プレーヤーの役割はこれまでとは大きく異なったものが求められ、プロジェクトの企画設計は発注者だけによって行われるのではなく、地域と密着な関係を持つ、様々な主体との協働によってなされ、この中で建設業の果たすべき役割は大きいものと考えられます。本シンポジウムでは北海道内で建設業者が中心となって実践されている事例を通して、これらの有り様と今後の建設業の果たすべき役割について議論を行い、これからの建設業が活躍する新たなフィールドについて考える場としたいと思っています。

奮ってご参加下さいますよう案内申し上げます。

記

■主催

(社)土木学会 建設マネジメント委員会

■共催等

共催)北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会

後援)国土交通省北海道開発局、北海道

■日時

平成22年7月16日(金)14:00～17:20

■場所

北海道大学クラーク会館講堂(札幌市北区8条西8丁目 tel:011-706-2989)

■定員

300名

■プログラム

14:00 開会挨拶

(社)土木学会建設マネジメント委員会 委員長 小澤一雅

国土交通省北海道開発局 局長 関 克己

14:05 土木学会建設マネジメント委員会活動報告

(社)土木学会建設マネジメント委員会 運営小委員長 森 望

14:20 事例報告

・留萌観光元気プロジェクト プロジェクトコーディネーター 高宮 則夫

・稚内ワッコールプロジェクト (株)富田組代表取締役社長 富田伸司

・空知フード&ワインロード計画 赤平よりみちの駅幌岡SOUKO代表 植村 真美

15:20 パネルディスカッション

コーディネーター 北海道大学 准教授 高野伸栄

パネリスト 東京大学 教授 小澤一雅

慶應義塾大学 教授 金谷年展

NHK国際放送局 国際企画部チーフディレクター 目加田頼子

(株)砂子組代表取締役社長 砂子邦弘

国土交通省 国土技術政策総合研究所 建設マネジメント研究官 森 望

17:15 閉会挨拶

北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会 委員長 伊藤昌勝

■参加料

2,000円(但し、北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会会員を除く)

■申込方法・申込先

参加ご希望の節は、会場整理の都合上お手数とは存じますが、参加申込み書に必要事項を記入の上、メールかFAXにより平成22年6月30日(水)までにお申し込み願います。

北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会 (担当:小賀坂俊昭、伊藤佳人)

tel:011-271-3029 fax:011-271-5115

E-mail:k-ito@decnet.or.jp

■その他

この講演会は、土木学会継続教育(CPD)プログラムに認定されています。